

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (九州)	良く なっている	コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・熊本地震の影響で一時的に良くなり、コンビニエンスストア自体の景気が良くなっているようであるが、今からの動向が気になるところである。物資が行き届いてからの客の動きに注目していきたい。3～4月半ば以前の客数、客層に落ち着いていく。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・年度が変わる時期であったため、関連する名札、名刺、贈答品、合鍵等のオーダーが多かった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・生鮮食料品及び住居用品等も前年割れしなくなっているため、かなり売れ行きは良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・熊本地震による救援物資、親族関係の買出しで当店を利用する客が増え、販売点数が伸びている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・家電業界では3か月前は暖冬であったので、景気は悪かったが、ここに来てやや良くなってきているようだ。ただ前年と比べるとどちらとも言えない。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・熊本地震の影響で新幹線、高速道路の損傷があり交通網が崩れた。逆に鹿児島、福岡間の航空機の臨時便の増便により売上が増えた。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・年度明け早々引き合いが多く、ほぼ受注できている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・気候の寒暖の変化が激しく春物商品の動きが悪い。消費に慎重な態度は相変わらず、低いままである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・時期的にその日、その月の売上は伸びているものの、例年の動きからすれば、前年比で今月の売上は伸びが良くない。客の購買動向も非常にシビアでなかなか売上に繋がらないところが、非常に厳しい。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・市場の相場は、1～3月の相場に比べると当地域の気温も高くなり県外ものも入ってきているが、相場的に上がらず下がらずで、需要はほぼ横ばいである。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	それ以外	・身の回りでは景気が良くなったとは感じていない。ただ、妻が駅近くで、ティッシュ配りで結構たくさんティッシュをもらったと話、景気が良くなっているようだと言っていた。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・来客数は先月と変わらずだが、前年度と比較すると約1割の落ち込みがあった。やはり景気が大きな原因である。確かに客の購入単価は低い。贈答には中身の本数を減らし単価を少し高くするという傾向がある。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・特に衣料品の春物の動きが鈍く、テナントも本部指示にて春物商品の生産を控えているうえ、売れ筋商品は力のある店舗に集中する傾向が強く、気候が良くなってきても、当施設のような地方の店舗には十分な商品在庫が持てない状況が続いており、欠品による売り逃しが発生している。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・同業他店は、3か月前とほぼ変わらない。特に衣料品関係の婦人服、紳士服ともに売上が落ちている。食品がけん引しているが、そのなかでも物産催事についてはかなりバラつきが出ている。客単価については非食品、食品とも前年実績を上回っているが、非食品の購買客数がかかなり落ちている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・食料品と身の回り品は前年を今月も上回っている。ただ、衣料品と暮らしの商品は厳しくなっている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・同じような商品でも売価の安い商品の動きが良く、客の価格へのシビアさがうかがえる。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・熊本地震の影響で水、即席麺他の簡便食品やウエットティッシュ等の売上が上がっている。震災の影響を除いても基本的な食材の売上は安定している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・当店はコンビニエンスストアであるため、目的買いの客が利用する形態である。したがって、目的買以外の商品の購入があるときは景気が良いという感触を持っており、そういったものさしで計ると、依然として客単価はシビアな状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客数がかんなく伸びない。客単価も3か月前と比較してあまり変わらない。結果、売上に変化はなく厳しい状況が続いている。景気回復の兆しは全くみられない。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・4月中旬の熊本地震により後半はその影響を受けた。ただ当地は被害があったわけでもないので、一般的な購買に陰りは無いが、気分的なものもあったのか、買い控えのような反応があった。
家電量販店（広報・IR担当）		販売量の動き	・全体的に熊本地震の影響もあるが、AV商品関連が伸びていない。	

	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・今月は地元産業祭があり、天気にも恵まれ、そこそこの売上と来場者があったが、その前後の来場者数、売上は良くない。
	その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	お客様の様子	・4月の熊本地震以降の客入りは前月と変わらない。ただ今後、復興再建に伴ってコーヒー業界がどう動くかというところはまだ見通しが立たない。
	その他専門店 [ガソリンスタンド] (統括)	お客様の様子	・燃料油の小売価格は、底を打ち少しずつ上昇局面になったようだ。満タン給油の客に変わらないが、客のためいきが聞かれる。
	ドラッグストア (部長)	販売量の動き	・熊本地震の影響で当社の店舗も被災し、数店舗ではまだ営業ができない状況である。一方で、他エリアの販売状況が良く、被災地支援のため物資を購入する動きがみられている。
	その他小売 [ショッピングセンター] (広報担当)	販売量の動き	・客数、販売量、客単価の動きに大きな変化はみられない。停滞感がある。
	タクシー運転手	来客数の動き	・熊本地震後、タクシー利用が非常に多く、毎日の稼働が大変良い。現在でもタクシーが足りない状態で動いている。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・目立った変化はない。
	競馬場(職員)	販売量の動き	・販売量について数か月前と比べて変化はないものの、依然として好調に推移している。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・3か月前のあまり景気が良くない時期に比べて、熊本地震の影響もあるのか、だんだん上がってくるのが普通であるが、今一つ回復していない。
	美容室(店長)	お客様の様子	・「ゴールデンウィークに旅行に出かける」などの景気の良い話は聞かないので、景気は変わらないと見込んでいる。
	設計事務所(代表)	お客様の様子	・熊本地震とそれに伴う余震により悪い。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・熊本地震の影響で、熊本の客の動きが止まっている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・熊本地震により、約1週間営業できなかった。また、店を再開しても客が激減している。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・熊本地震の影響で観光地のテーマパークや市内の旅館等のキャンセルが相次いでおり、その影響が多少なりとも当商店街にはあるようだ。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・熊本地震の影響が大きく、買物する客の勢いが無い。人通りも例年の4月に比べて少ない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・1年のうち最も多く人の入替わる時期であるが、来店客数が減少し、客単価も伸び悩んでいる。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・最近当地では大型スーパー等が何店舗も閉店し、またコンビニエンスストアが町内ごとにどんどん閉店しているため、当商店街への客足が遠のいている。
	百貨店(マネージャー)	販売量の動き	・一進一退の株価の状況もあるのか、ブランド品、時計及び宝飾など高額品の売上が依然として悪く、前年比25%減で推移している。また、依然として不要不急の婦人、紳士衣料も売上が鈍化したまま。景気の悪さを如実に表している。インバウンド需要については、熊本地震以降、ツアーのキャンセルが出ているとのことで、震災以降の免税売上が前年比で半分程度に落ち込んでいる。
	百貨店(営業統括)	単価の動き	・本来この時期に購買されるはずの衣料品や見回り雑貨関連商品の動きが鈍い。
	百貨店(店舗事業計画部)	お客様の様子	・3~4月にかけては新生活に関する商品以外はあまり動きのないなか、今年は特に春物の衣料品、雑貨の動きが悪い。目新しい商品に乏しく、売場を回る顧客自体が少なくなっており、ギフトや歳時記以外では反応が鈍くなっている。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・熊本地震が発生した。今後しばらくは客を含めて、被災者を中心に生活の建て直しが第一優先となる。食品、生活に関するリビング商品の需要が高まりそうであるが、ファッション商品の回復には時間が掛かりそうだ。
	百貨店(企画)	来客数の動き	・熊本地震による、県外顧客を中心とした来店減少への影響がある。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・熊本地震によって店舗の営業が不可能になり、店舗周りも災害復旧工事をしている状態で客には迷惑をかけている。店舗の修復で月後半は非常にだめであった。来月も復旧工事の関係で営業できるかどうか分らないので、見通しが見つからない状況である。

	衣料品専門店 (店員)	来客数の動き	・熊本地震後も人出はあるが入店客数が減っている。 4月はトラベル用などの服が売れる月だが今年は需要が少ない。
	衣料品専門店 (チーフ)	それ以外	・前半はとんとんで前年同様の推移をしていたが、熊本地震後、客数の動きが減少するとともに客の消費マインドも低下気味である。
	家電量販店(総務担当)	お客様の様子	・端境期であることに加えて天候不順も重なり、来客数が前年割れしている。チラシやイベント等の効果も少ない。熊本地震の影響もある。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新車販売において期末商戦が終わり一服感がある。例年どおりのことであるが、今年は例年以上に低調な実績である。
	その他専門店 [書籍](副店長)	販売量の動き	・駅の新しい商業施設のオープンに加え、熊本地震により週末の来客数が減ったことによる影響が大きい。
	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (支配人)	お客様の様子	・各店舗の売上、販促イベントの売上等において、前年同月比、前回比でやや悪くなっている。
	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	来客数の動き	・熊本地震の影響で外国人旅行客が減っている。そのためインバウンド売上が伸びていない。しばらくはこの傾向は変わらない。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・熊本地震の影響を多大に受けている。
	都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・4月の売上は非常に良かったが、熊本地震によるキャンセルが多数発生しており、非常に厳しい状況になる。
	旅行代理店(企画)	お客様の様子	・熊本地震の対応等で旅行の中止が発生している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・駅周辺の大型商業施設の開業等があったものの、熊本地震により当地においても観光客のキャンセルなど沈滞ムードが漂っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・熊本地震の影響で九州自動車道が寸断されていたため、車、バスなど輸送の流れが止まり、人の動きが悪い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・熊本地震の影響により観光関係、タクシー、修学旅行のキャンセルが続出しており、今月はかなり厳しい状態である。
	通信会社(営業)	販売量の動き	・販売量の動きが、3か月前に比べて前年比でも良くない。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・特に観光地である当地では、熊本地震の影響で今年も調子が良くなく、前年比1割減のところ、今回の地震の影響で3割減となっている。インバウンド客は前年より2割増えている。ここ2~3か月ではなかなか増える見込みはない。対策も打ってはいるが、有効な対策を見いだせず、厳しく我慢している状態である。
	競輪場(職員)	競争相手の様子	・各場のグレードレースの売上について前年度比マイナス傾向がみられる。
	その他サービスの動向を把握できる者 [フィットネスクラブ] (営業)	来客数の動き	・熊本地震の影響により、新幹線と九州高速道路が停止している。
	その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス] (管理担当)	競争相手の様子	・季節要因としては客増となっているが、4月の介護報酬マイナス改定の単価ダウンにより、同業他社の業績は軒並み悪化の傾向となっている。
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・熊本地震の影響で商店街への来客数がかなり減っている。客の様子をみても不要不急なものを買わない状況が見受けられる。地震が続いているという風評被害的な面もあり、大変厳しい状況である。
	一般小売店[食料雑貨](店員)	販売量の動き	・熊本地震は販売先の飲食店に甚大な影響を及ぼしている。4月26日現在で市内飲食店で営業を再開したのは3割程度である。4月の売上は大きく落ち込んだ。
	一般小売店[生花](経営者)	お客様の様子	・熊本地震によって店舗周辺がほとんど被災してしまい、客数が減った。
	百貨店(営業担当)	それ以外	・熊本地震の影響が出ている。

百貨店（営業担当）	来客数の動き	・熊本地震の影響で、入店客数が減少している。地震発生前は前年を上回る入店があったが、地震発生後10日間は新幹線や九州縦貫自動車道の遮断による物流や人の流れのストップに加え、地震報道、地震速報、余震の発生等で来店客数は15%程度ダウンした。25日以降は春の北海道物産展、地域ぐるみのゴールデンウィーク催事等により客足も戻り前年を超える水準に回復しつつあるが、購買は回復していない。		
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・九州については熊本地震後、非常に消費そのものが冷え込んできている状況である。今後の先行きが少しみえない。売上ではインバウンドの売上そのものがここにきてかなり落ち込んできている。		
百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・熊本地震以降、売上、来店客数ともに前年からマイナス5ポイントで推移しており、消費マインドの冷え込みが一段と厳しくなっている。		
スーパー（経営者）	お客様の様子	・今回の熊本地震による代償が大きく、飲食関係、食料品関係は補充が必要な状態であるが、他の部分に対する不安が多く、費用的にも相当な状況に陥っている。		
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・景気そのものには関係ないが、熊本地震の影響で客の動きが鈍い。		
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・依然として来店者は少なく、終日閑散としている。		
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・当地近くで熊本地震が発生し、また気候的にも例年と比べ不順であるため、商店街への来客が極端に減っている状態である。		
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・熊本地震以降、入っていた客の予約はすべてキャンセルになった。客もほとんど来ることがなく売上がガタ落ちとなった。		
高級レストラン（社長）	来客数の動き	・熊本地震の影響が大きい。		
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・熊本地震で鉄道、飛行機などの交通網に影響が出ており、県外、アジアからの客が減って、大変な状態になってきている。客数が地震前の10分の1ぐらいになっている。		
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・4月半ばから来客数が減っている。熊本地震の影響もある。		
一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・一時的、局地的なことであるが、熊本地震の影響で観光客が減少している。		
スナック（経営者）	来客数の動き	・月初より来客数が前年より少なく、例年なら後半にかけて持ち直していたが、熊本地震の影響で回復もみられず、前年を大きく下回る。		
居酒屋（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で自粛ムードにあることと、地震に対する不安で当地の観光が落ち込んでいる。		
観光旅館組合（職員）	来客数の動き	・熊本地震で道路の通行止めや交通機関のまひ、また余震がまだ続いていることもあり、キャンセル等も多数出て、集客に大ダメージを受けている。ゴールデンウィークの予約等は増えてきているものの連休明けの来客数がどれだけ戻ってくるのか不安が募る。		
観光ホテル（総務）	それ以外	・熊本地震による影響が出ている。		
観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・順調に予約が入っていたが、4月14日以降、熊本地震によりキャンセルが相次いでいる。宴会、宿泊、特に宿泊のキャンセルが非常に出ている。		
観光型ホテル（専務）	それ以外	・熊本地震の影響で長崎県もまるで被害があったかのような風評被害を受けている。キャンセルが相次いでおり、余震が収まるまで影響が続くと見込んでいる。		
都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・熊本地震があり、宿泊客の減少や宴会の中止、出席者の欠席などが多く、売上が下がっている。この影響が上期まで回復できない可能性が大いにある。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・熊本地震の影響が出ており、今後も当分続くだろう。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・熊本地震で店の被害もあり、悲惨な目に遭っている。		
企業動向関連 (九州)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
	繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が高くなった。良い傾向だが、人材不足だ。外国人研修制度の活用もやめてしまうのだが、日本人の賃金の上昇も早過ぎる。中国での生産などが本格的に無理になってきて、国内に戻っても、非常に難しい状況下にある。技術もなくなっている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備製造業では、年度初めの受注状況は例年この時期、芳しくない。今年も例年通り受注量が少なくなっている。	

変わらない	金融業（従業員）	取引先の様子	・小売業については、熊本地震の影響もありいろんな商品が売れているので、3か月前に比べてやや上向きの状況である。 ・外国人客数が増え、前年比120%となった。売上が好調である。
	経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・4月は異動の時期でもありスーパー、居酒屋等好調な動きであった。鶏肉相場も前年より若干下がったが、まだ高値水準で動いており、その影響で加工メーカー筋も極端な値下げ要求はない。量的にも引き合いが相変わらず強い。
	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月度の受注額、受注件数共に前年比で横ばいである。熊本地震もあり、サプライヤーの被災と物流の停滞、旅館やホテルなどのダメージも影響している。
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・熊本地震で今年の陶器市がどうなることかと心配したが、29日の初日は人通りが多く、大変盛況であった。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の数、また考え方が以前と変わっていない。
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・熊本地震の影響で、熊本以南への配送が困難になっている。受け入れ先も被害に遭っているため今後の受注量にどれだけ影響がでるか懸念される。いずれにしても、地震後の受注量が減少しているのは事実である。
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・熊本地震の影響で通常業務ができない客もいる。飛行機、高速道路、鉄道などの運休や幹線道路も寸断されている状況となっており、業績は悪化している。
	輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・3月期決算で増収増益が見込めた。さらに、当面のソフトウェア関連の受注を確保し、今後もしばらくは一定の収益が見込めることになっている。
	通信業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・求人数が増加し続けているなど、雇用環境は改善傾向にあり、個人消費もスーパー、コンビニエンスストア等の売上が増加するなど、緩やかながら持ち直してきている。一方、中国や新興国の経済が減速傾向にあるため輸出関連の生産は弱含んでいる。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・中国景気の後退以降は、低迷が続いている。為替や株価も乱高下しており、投資も様子見の姿勢が強い。
	金融業（営業）	取引先の様子	・足元の需資に大きな変化はない。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・熊本地震により、運送業、建設関係の業者は特需を受けているが、飲食業等は企業、公務員等の自粛ムードもあり売上高は減少している。したがって状況は変わっていない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・目立った動きがみられない。
経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・取引先から業況を聞くと、特に変化がないという回答が多い。	
経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の調査、計画、設計等の予算が少なく、発注件数が少ない。現在、男女共同参画や障害者向けの調査や計画等の委託の入札が行われているが、入札価格が低く、安い金額で落札している傾向にある。市町村からの発注件数が少ないため、業務の取り合いになっている。	
その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の調査、計画、設計等の予算が少なく、発注件数が少ない。現在、男女共同参画や障害者向けの調査や計画等の委託の入札が行われているが、入札価格が低く、安い金額で落札している傾向にある。市町村からの発注件数が少ないため、業務の取り合いになっている。	
やや悪くなっている	農林水産業（営業）	それ以外	・熊本地震で輸送関連に大きく影響が出ている。観光客の減少も予想される。
	金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック需要が見込める東京地区においても、基礎工事だけしか進んでおらず、建築設備機器の発注の段階には至っていない。加え、熊本地震での復旧工事があると見込めるが、建築設備まで至らない。
	電気機械器具製造業（取締役）	それ以外	・先週末の熊本地震の関係から九州内での今後の動向がまだ読めない。地震による各種工場の不稼働でマイナスとなる局面が大であるが、別途ビジネスが発生する可能性もある。
	その他製造業（産業廃物処理業）	取引先の様子	・円安により相場は若干戻りつつあるが、熊本地震の影響で取引先が操業停止等により仕入れができない状況にある。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・九州に関して言うと、14日と16日の熊本地震により大きな打撃を受けている。それにより問屋、ホームセンター系の納品が減少した。しかし、九州自動車道は今月全線開通予定であり、何とかトラックも配達が進んでいるので、そこまで落ち込みはないようであるが、やはり打撃としては大きい。

	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・熊本地震の影響を危惧する代表者が多く、現状直接的な被害はないが、今後の状況を勘案すると景況感はやや悪いとみる。	
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・熊本地震の影響があり、熊本に本社や工場、拠点や取引先がある会社は対応に追われている。当社の客も被災しており月末決済が微妙な先もある。地震ではリース契約に含まれる動産総合保険は使用できない。	
悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月になると途端におかしくなって受注量も大幅に減ってきている。また、熊本地震による流通関係の部品並びに原材料の交通機関に対して時間が掛かり過ぎるために、流通全体が大幅なダウンになっている状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で、生産設備が一部壊れている。また、被災により出勤できない従業員が半数程度いる。そのため、受注量の4割しか生産できていない。	
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・熊本地震により操業停止となった。	
	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・3月末でどの建設業者も手持ち工事が完了し、自社機械や資材置場等の整備に社員や作業員を配置している。繰越工事のある建設業者はごく一部の地場大手だけである。例年ならこの時期を見込んで民間工事があるが、今年は見積依頼も少ないようで、早目の発注をしてほしい。	
	経営コンサルタント（代表取締役）	それ以外	・今月は熊本地震以降、月末まで活動がほとんどストップしている状況となっており、悪い。	
雇用関連 (九州)	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で20.7%増、6か月連続で2けた増加となった。1事業所当たりの求人数が増加する傾向がある。
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期派遣求人の依頼は例年並みであり、退職者の補充などにとどまっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・駅直結の商業施設ビルがオープンし、博多駅周辺はにぎわいをみせているが、一方熊本、大分を震源地にする熊本震災の影響は集客という点ではかなり出ていると考えられる。1週間が過ぎても余震が続いているため、復興も合わせしばらくは人の消費行動も弱まると考えられる。地元の求人は直接的には影響は出てきていないが、現地に支店や営業所がある企業は何らかの影響を受けている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成28年2月の宮崎県の有効求人倍率は1.02倍と前月を0.02ポイント上回った。有効求人倍率は11か月連続で1倍台を維持している。
		職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・新規求人数では前年比マイナスの月もみられるが、有効求人数は増加傾向が続いており、有効求人倍率も高い水準で推移している。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・3月以降の求人数は前年度と同推移である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・熊本地震の影響でキャンセルが多数出た。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・注文数が減ってきている。求人を出すのが、応募がほとんどないことのほうが多い。直接雇用の求人が増えていてそちらへ流れていると企業担当者に聞くと、同じように企業担当者も応募が少ないことに苦労しているようだ。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人依頼数が前四半期よりも低調である。熊本地震の影響もあり採用を見合わず企業も出ている。
人材派遣会社（社員）		求人数の動き	・毎年の傾向ではあるが、求人案件数の動きが鈍い。求職者数の動きも落ち着いている。熊本地震に加え、ゴールデンウィークも控えているため、市場の動きが出るのはもう少し後になりそうな気配がある。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		それ以外	・熊本地震のため、当地でも交通や流通に影響が出ている。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・熊本地震の影響により、事業休止や廃止を余儀なくされた被災事業主から求人取消依頼や雇用調整助成金にかかわる問い合わせが急増している。	
民間職業紹介機関（支店長）		求人数の動き	・熊本地震のマイナス影響が出ないはずはない。	
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・熊本地震とそれに伴う余震により悪い。	